

新潟市地球温暖化対策地域推進協議会平成28年度事業報告

【COOL CHOICE への賛同】

2015年12月のCOP21で採択された「パリ協定」を受け、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比で26パーセント削減するという目標が掲げられ、この目標達成のための具体的な行動として、国民一丸となり温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていく国民運動「COOL CHOICE」に賛同しました。

【啓発イベントの実施】

実施期日	実施事業
10月2日(日)	環境フェア開催(共催事業)(於万代シテイ通り)

【エコ・モビリティライフ（エコモビ）の推進】

新潟市、新潟県地球温暖化防止活動推進センターと共催で、事業者を対象としたエコドライブやノーマイカーデーなどの取り組みを実施。「エコモビ推進運動」に参加する事業者・団体を募集し、11月の実践期間中、「エコモビ」情報の周知・実践の呼びかけや、エコドライブの徹底などを推進しました。また、優秀実践者の表彰を行いました。

実施期間	実施内容・効果
11月1日～30日 ※実践期間	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコモビWGの皆様による、エコモビ実践ガイドブックの編集。(8月) ・HP,商工会議所の会報誌,各メディア等を通じた事業の周知(9月～) <p>【参加者数】</p> <p>市内事業所・団体 計41団体／延べ参加者数 19,154人</p> <p>【表彰者】</p> <p>別紙1のとおり</p> <p>【取組効果】</p> <p>★参加事業者の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックを含むエコモビ啓発ツールの活用(全参加者) ・エコ通勤チャレンジサイト・新潟市交通お役立ちサイトの活用(全参加者) ・ノーマイカーデーの設定・実施(8団体) ・徒歩・自転車通勤の奨励(駐輪場確保 13団体) ・エコドライブ研修会の開催(8団体 291人) ・エコカー(EV・PHV・HV等)の導入(45台) ・エコドライブによるCO2削減量推計値(1,724t-CO2) <p>【その他取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式において新成人にガイドブックを配布 ・市役所職員への実践呼びかけ ・公共施設での広報 ・公用車へのステッカー貼付 ほか

【市民向け省エネ取組み支援講座実施事業】

コミュニティ協議会，自治会・町内会，小・中学校等へ講師を派遣し，省エネ取組みの講習会を開催しました。

実施回数	取組内容・効果
全24回	【講師】 当協議会員 白井様，井上様，石田様 県環境リーダー，県地球温暖化防止活動推進員，市職員 【参加者】 延べ840人 【取組効果】 回収したアンケートから，家庭の省エネについて「これから実施したい」との回答に削減 CO2(kg)を乗じた「努力削減量」は全体で 76,099kg-CO2/年であった。(回答者数 380人。一人当たりで換算すると約 200kg-CO2/年) 全24回の講座実施による普及啓発活動が，家庭の省エネへの取組み意欲を醸成した。

☆低炭素杯2017優良賞授賞☆

同事業について，低炭素杯2017にエントリーし，優良賞を授賞しました。

【ワーキンググループ事業】

推進協議会内で各ワーキンググループを立ち上げ，ガイドブック作成に関してさまざまな視点からの意見を出したほか，イベントにおいて運営をしました。

ワーキンググループ	実施事業
エコモビWG	【実施内容】 エコモビ推進運動におけるガイドブック編集 WGメンバー(5名) 新潟交通(株)村山様，新潟県トラック協会浅間様，新潟スバル自動車植村様，県推進員 横木様，大島様 【取組効果】 市民目線・事業者目線での意見を反映したガイドブックの作成
イベント実施WG	【実施内容】 環境フェア当日ブース運営。エコドライブシミュレーター体験補助。 スタッフ参加(6名) 伊藤様，八子様，井上様，大島様，田邊様，駒野様，渡邊様 【取組効果】 呼び込み，説明，体験補助等，連携してブース運営を実施。

【研修会の開催】

主に市内事業者向けに，効率的な施設管理に有効な ESCO 事業などの仕組みについて知っていただく機会として講演会と併せて見学会を実施しました。

実施期日	実施内容
12月9日(金)	「ESCO 事業講演会と新潟市亀田総合体育館見学会」の開催 ○第1部 講演会「公共施設における省エネ対策と ESCO 事業」 講師：坂口淳教授(新潟県立大学国際地域学部) ○第2部 講演会/見学会「新潟市亀田総合体育館の ESCO 事業について」 講師/案内：菱機工業(株)新潟支店/北陸ガス(株)・北陸ガスエンジニアリング(株) 参加者：計35名(定員を超えたため2グループに分かれ，入れ替え制で実施) 【取組効果】 アンケート結果から，8割以上の参加者が参考になったと回答。

平成 28 年度エコモビ推進運動 表彰者一覧

名称	表彰	表彰理由
阿部仏壇製作所	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ● もともと 3 台あった社用車を 2 台に削減。車が足りないときは自転車、公共交通機関、レンタカーを利用。 ● スマホや PC を活用して職員間の予定を共有し、無駄のない移動を心がけた結果、燃料削減に加え、職員間のコミュニケーション力も向上した。従業員数が少ない事業所であるため、社用車を 1 台削減したことによる業務への影響は大きいと考えられるが、それを他の移動手段の選択に加え、スケジュール共有等を活用した職員間のコミュニケーションを駆使してフォローした点が、他の事業者に対しても参考になる。
新潟交通株式会社	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員への意識啓発のため、社内ニュース、社内放送、独自ポスターの掲示等、様々な手段を駆使してエコモビ実践を呼びかけた。 ● 11 月の全出勤日をノーマイカーデーとしたほか、本社・関連会社のほぼ全ての管理職員を対象にエコドライブ研修を開催し、受講者は各所属職員へのフィードバックを行うなど、エコモビの実践を社全体で徹底。従業員数延べ 900 人近くに達する大規模事業者が一丸となり、こうしたレベルの高い取組みを実践する姿勢は、他の大規模事業者に対しても参考となる。
株式会社 アイ・ディープラン	優良賞	<ul style="list-style-type: none"> ● エコドライブ研修会を開催し、様子をホームページに掲載して取組みの PR を積極的に行ったほか、通勤ラッシュの時間帯を避けた時差出勤を行うフレックスタイム制度を試験的に導入するなど、独自の取組みを実践した。
旭カーボン株式会社	優良賞	<ul style="list-style-type: none"> ● エコモビについて社内のネットワーク環境を活用して周知し、職員の実践状況について調査を行った。報告を受けた取組み結果を CO₂ 削減量に換算して算出し、従業員へフィードバックするなど、効果が見えづらい CO₂ 削減効果を定量的に示した。
佐川急便株式会社 新潟営業所	優良賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料種別ごとに月の燃料使用料、燃費を細かく把握しているほか、エンジンの回転数が 1,500 回転以上になった回数を車番ごとに毎日把握するなど、運送業者ならではの緻密な低炭素型輸送システムを構築・運用している。
株式会社 トーホー	優良賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力会社を交えたエコドライブ研修会を開催したほか、平成 25 年から独自に実施している安全運転 5 則（冬期 10 則）の唱和を通じて急発進の回避、適正速度の順守等を徹底しており、交通安全と絡めたエコドライブの浸透を進めている。